

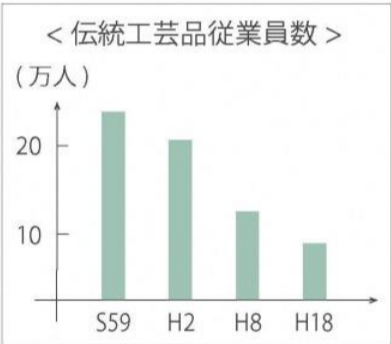
北山を伝う、週末の棲家

「週末林業」と「北山丸太」を組み合わせ、
北山杉の伝統文化と丸太材が両輪的に展開した住宅+ゲストハウスの提案



「北山丸太」の文化をつなぐ住宅+ゲストハウス

01 Background 伝統工芸品と「木の文化」



京都には西陣織や清水焼など多くの伝統工芸品があり、北山丸太もその一つである。しかし、伝統工芸品に触れる機会が少なく知名度は低い。特に木竹工品は認知度の低いカテゴリーで、「北山丸太」も同様の状態である。本コンテストにおける「木の文化」の継承のためには、文化の周知と木材の美しさ・強度を生かした構造意匠材としての活用が必要である。

02 Site/Diagram 「週末林業」というライフスタイル



敷地は京都市北区中川北山町の北山丸太の製材場東 63 坪と設定する。北山丸太の中心地中川北山町は、文化財・木造倉庫群をはじめとした歴史ある建物が残り、川や杉林などの豊富な自然に囲まれ、林業を主とした伝統産業が残っている。この林業の多様化として、平日は別の仕事を営み、週末のみ林業に携わる「週末林業」という新たな林業の形が出現した。この週末林業を営む人がより簡単に林業に関われるように、住宅にゲストハウスの機能を設ける。これにより林業と北山丸太の周知を促進する住宅となる。

03 Proposal/Isometric/Section 北山丸太の多彩な魅せ方 / 丸太柱・丸太束・丸太梁と丸太パーテーション

◇ 丸太柱

角材と北山丸太を用いた架構で屋根を支持する。角材の締まりと丸太の艶やかさ・元・末への上昇感が、整然さのある立面をつくる。



◇ 丸太束・梁・パーテーション

丸太の束と束がハイサイドライトで照らされ、子供部屋を明るく演出する。可動式の丸太パーテーションは、子供部屋の分節をつくる。



丸太柱の列柱
ファサード

横軸・縦軸の
つながり

手と目で木の
ぬくもりを感じる



A-A' 断面図兼パース (S=1/100)

